



男女共同参画推進委員会

第145回

ーリレー・エッセイー

「スポーツは男女別？」

安中ポッチャクラブ代表

高橋 貴子



私は障害者になるずっと前はバレーボール少女でした。体格や力強さが男子に劣ることを経験し、さらに体育の授業は男女別だったので、「スポーツは男女別が当然」と思ってきました。

ところが、ポッチャの世界に飛び込むと、固定観念を覆されました。性別、年齢、障害、国籍、言語…違いを越えて一緒に戦っているのです。

私は昨年からアスリートとして活動しています。全国トップレベルの仲間と練習中、女子選手が男子選手を負かす場面をよく目にします。私も男子選手に勝つことがあります。性別は気になりません。「個」として、そのライバルに勝つた！という大きな喜びを感じます。

ポッチャの特徴として、男子のパワーに圧倒されることもあります。正確なショットと、相手の先を読んで駆け引きをする戦略によって、女子選手も互角に戦えるものです。また、審判員やスタッフは性別を問わず活躍し、アスリートを支えてくれています。

パラスポーツの世界では、公平性を保つために、「クラス」や「持ち点制度」が設けられていて、使える道具や補助員の有無に制限があります。障害の程度が似たもの同士で順位を競うのです。

では、性差はどう扱うのか。ポッチャのペア戦とチーム戦は、「女子選手を含めること」と決まっています。個人戦については長らく男女混合でしたが、パリパラ2024に向けて男女別に規則が変わりました。その要因として、国際的に大会に参加する選手の男性比率がとても高かったという背景があります。国際ポッチャ競技連盟が女性の活躍推進に舵を切ったことで、女性の競技人口の増加と競技全体でレベルの向上が期待されます。

全国各地のレクリエーション大会では、3世代で参加している姿を見かけます。私はポッチャがユニバーサルスポーツであることに感動して、2019年にクラブを創立しました。年間50回開催している体験交流会には、幼児から90代が参加しています。参加者のある高齢男性と女性は同級生で、昔の話に花が咲きつつも、コート上ではライバルです。「やったぞー」「悔しいなあ」と笑い声が絶えません。男女別で競争することが向いている競技もありますが、スポーツを楽しむのに性別は関係ありません。みんなにチャンスがあります。クラブでは、だれもが輝ける場を提供しつづけていきたいと思います。

安中市消費生活センターからのお知らせ

気をつけてほしい消費者トラブル

消費生活センターに昨年度に寄せられた相談などから、特に気をつけてほしい消費者トラブルをまとめました。



☆屋根や水回りなど住宅修理に関する点検商法

屋根や排水管などを点検すると業者が訪問してきて、点検後に「このままでは大変なことになる」と言われて、契約を断ってしまった。

☆インターネット接続回線の契約トラブル

料金が安くなると言われて別業者に乗り換えたけど、前より高額になった、利用している大手電話会社の勧誘だと思っ

☆インターネットの通信販売トラブル

お試しのつもりで商品を購入したら、定期購入になっていた、ほしかった商品が格安になっているサイトを見つけて注文し、代金を支払ったのに商品が届かない。

☆架空請求、偽メール、偽ショートメッセージ

身に覚えのない請求がメールで届き、あわてて連絡するとコンビニで電子マネーを購入するように指示された。宅配便業者などをかたり、個人情報や騙し取る手口も。

☆訪問購入(押し買い)

不用品の買い取りのようですが、強引に貴金属を買取られた。

【問合せ】

訪問販売や電話勧誘、メールなどで、少しでも不審なことがあれば、迷わずすぐに市消費生活センターにご相談ください。

(☎382-2228)

相談日時▼月・金曜日(祝日を除く)午前9時～午後4時30分

問合せ▶困市民課市民協働係(☎内線1027)